

高校1年 学年通信 No.7

2018年8月27日

処暑の候、皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。また、平素は学校活動に多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。また、この度の台風により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早く日常を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

一か月強の夏休みが終わりました。生徒の皆さんは、それぞれどのような時間を過ごしたでしょうか。夏休みに入る前に、生徒たちには、

「高1の夏休みは一番差がつく夏休みである」

という提示をしています。当たり前の話ですが、高2・3と学年が上がれば勉強に真剣に向き合う生徒は本校だけでなく、全国の高2・3で増加します。高1の夏休みは、上級生に比べるとその数は多くありません。だからこそ“一番差がつく”のです。この夏、高校生として自分の将来の目標を探しつつ、主体的に取り組めた人は確実にこの先につながっていきます。本当の実力をつけるために、継続した取り組みを身につけてもらいたいと思っています。

将来を探す視点

先日、京都大学の iCeMS (京都大学高等研究院) を訪問し、京大の研究者が高校生に語りかける内容を聴いて、考えさせられることがありました。その内容は、

「日本の成績優秀な大学生は大企業に就職したがる。アメリカの成績優秀な大学生はまず起業を考える。アメリカの学生は、大企業の10000人目になるより、ベンチャーであっても自身が起業した企業であれば、自分の意見でその会社を動かすことができると考えるから。」

本校では多くの者が大学進学を希望します。私もそれが当たり前のこととしてこれまで進路指導を行っていました。しかし、最近では同じ大学進学でも外国の大学を志望する者が出てきています。そのこと自体も大きな変化なのですが、その者たちにその理由を聞いてみると、上記のようなことを理由とするものが少なくありません。

この紙面では、たびたび入試改革・教育改革についてふれています。今回の入試改革・教育改革については、社会が求める力が変わってきているという所が根本にあります。その視点で高校生と向き合う際に、これからの時代は高校生を支援していく立場として我々も固定観念にとらわることなく、視野を広く持つ必要があると強く再認識いたしました。

二学期の主な予定

8月	27日(月)	始業式
	28日(火)	スタディサポート
	29日(水)	英検IBA * 来年春の豪州語学研修参加希望多数の場合、選考基準となります 情報モラル講演(講師: 小木曾健(GREE株式会社))
	30日(木)	キャリア甲子園関連
	31日(金)	授業開始
9月	13日(木)	体育大会
	21日(金)	前期考査(保健・家庭科・音楽/美術)
	22日(土)	学年集会
10月	4日(木)	校外学習
	5日(金)	英語検定(希望者)
	15日(月)	中間考査
	~19日(金)	漢字検定(希望者)
	27日(土)	進研記述模試
	29日(月)	文化祭(一般)
11月	3日(祝)	全統記述模試
	8日(木)	期末考査
12月	3日(月)	三者面談
	~7日(金)	GPS Academic * 大学の学びで培われる問題解決の力を、 「思考力」「姿勢・態度」「経験」で評価するテスト
	15日(土)	キャリア甲子園関連
	~26日(水)	
	17日(月)	
	17日(月)	キャリア甲子園関連
	~20日(木)	



行事に主体的に関わることで、個人の力量upとクラスの団結力を培う

二学期は、9月の「体育大会」・10月の「校外学習」・11月の「文化祭」と大きな行事が立て続けに行われます。どの行事にも共通するのは、個人の頑張りはもちろんですが、クラス集団としてどのように協力し目標達成に向かって努力していくかが大切になってきます。学校という場で身につけるべきスキルは、知識・技能だけではありません。行事を成功させるべく一つの目標に向かって、目標やクラスメイトとどのように関わり、自分の力を影響させていくのかという経験を通じて、思考力・表現力・判断力や主体的に取り組む力を成長させる絶好の機会です。何も特別なことをするわけではありません。自分のできることを、それぞれのクラスでしっかりと行ってもらいたいと思います。